

大田区成年後見制度等利用促進協議会 金銭管理勉強会（第 1 回）議事録

日時	令和 7 年 2 月 13 日（木）10 時 30 分～12 時
会場	大田区社会福祉センター 4 階会議室
出席者	≪委員≫【協議会委員】 中原委員(部会長)、張間委員(副部会長)、松井委員、星野委員、菅野委員、丸山委員、神作委員、市場谷委員(欠席) 【行政委員】 松田委員、根本委員、富永委員、 ≪事務局≫【社会福祉協議会】 近藤事務局次長、岡田おおた成年後見センター長、福本係長、尾崎主任、白石主事、中村主事、川口主任、浅井主事、権田主事 【大田区】 長谷川福祉支援調整担当課長、菊地調整担当係長、高橋調整担当係長、千葉主事、吉田主事
次第	1 開会 2 委員紹介（資料番号 1） 3 議事（1）厚生労働省「持続可能な権利擁護支援モデル事業」について （2）他自治体の先駆的な金銭管理の仕組みの共有 4 事務連絡 ・今後のスケジュール 5 閉会
会議資料	資料番号 1 大田区成年後見制度等利用促進協議会 金銭管理勉強会委員名簿 資料番号 2-1 地域連携ネットワークの強化に向けて 大田区成年後見制度等利用促進協議会 部会等設置 資料番号 2-2 大田区成年後見制度等利用促進協議会で出された課題等 資料番号 3 厚生労働省モデル事業研修 持続可能な権利擁護支援モデル事業について 資料番号 4 令和 6 年度モデル事業実施自治体等連絡会 第 1 回連絡会 机上配付 他自治体の先駆的な金銭管理の仕組み ～簡易な金銭管理を通じ、地域生活における意思決定を支援する取組～
議事要点	○権利擁護支援が必要な方に、地権（日自）か法定後見など、どのような支援が必要か、丁寧にアセスメントしている。地権（日自）は判断能力が不十分な方との契約のため、丁寧に進めることから時間がかかる。 ○国のモデル事業は、金融機関の理解がなかなか得られないこと、また、継続性や財源を確保されていないので、自治体が手を挙げづらい。 ○日常的な金銭管理をやむを得ず行っている場合がある。 ・在宅で本人や家族の同意を得ている場合 ・施設などで預かって管理している場合 ○今後、金銭管理を検討するにあたり、4 つ視点で検討する必要がある。 ・緊急的な対応と日常的な対応を分けて考える。 ・本人の判断能力がある場合とない場合で考える。
中核機関のまとめ	●金銭管理勉強会で検討 日常的な金銭管理の仕組み